

クラブテーマ：「**明るいクラブの基盤拡大と超我の奉仕**」

2021-2022 年度会長

瓜生道明

(1) RI 会長テーマと活動目標（シェカール・メータ会長）

詳細 別紙 1 参照

- ・ 2021-2022 年度テーマ：「**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**」

(Serve to Change Lives)

・ 活動目標（抜粋）

① 会員増強

過去 17 年間 120 万人と横ばいであった会員を、2022 年 7 月 1 日までに 130 万人へ(8%増)

② ロータリー奉仕デーのイベント開催

2021-2022 年度に少なくとも 1 回、実践的かつ行動志向の奉仕デーのイベントを計画開催  
(開催にあたっては、定められたガイドラインを満たす必要あり)

- ③ 世界各地で 7 つの重点分野（ロータリー財団の重点分野、本年度から「環境の保全」が追加）  
に焦点を当てた 7 回の RI 会長主催会議の開催。

(2) 2700 地区テーマと重点目標

- ・ テーマ：「**取り組もう 基盤強化と超我の奉仕**」

詳細 別紙 2 参照

・ 重点目標（抜粋）

① 会員増強地区目標

2022 年 7 月 1 日時点の目標会員数 3400 人 (⊕248 人/64 クラブ≒4 人)

② 地区が一体となったインパクトのある奉仕活動の計画・実施

RI 活動目標のロータリー奉仕デーの実施。6 月末までに計画立案し、補助金申請、(ロータリー財団より、各グループ最大 50 万円補助)、10 月ごろ実施する。

(第 8 回宗像国際環境会議開催日時の前後に実施し、分科会で事例報告)

第 1 グループから第 7 グループごとにイベントを計画中。当クラブも、江見第 5 グループガバナリー補佐(福岡城西クラブ)を中心に計画中。

(3) 当クラブの運営の方針（目標）

市川年度のクラブテーマは「親睦を原点に」でした。ロータリークラブの原点の一つである親睦を起点として、人を思いやる心を大事にしようと呼びかけられました。

コロナ禍で会員同士が語り合う機会も少なくなる中、長期計画委員会や理事会では、明るい雰囲気、私自身はこれまで以上に対話できたと思っています。ロータリーの歴史には精通していませんが、明るいクラブであればこそ、互いの意見も尊重しつつ建設的な対話もでき、それがクラブの活性化につながり、また、若い会員の勧誘にもつながると考えています。

当クラブが、より一層活性化し、会員の皆様の満足度が高まるよう努力してまいりますので、会員各位のご指導・ご鞭撻をよろしく願います。具体的な運営方針は次のとおりです。

#### (4)運営方針

##### ①長期計画の検討・立案

市川年度において、CLP が導入され、委員会組織の変更が行われ、長期計画委員会が設置されました。長期計画委員会では、クラブ細則改正、クラブ内部規定（経理規定・慶弔規定・職員就業規則）について論議し、昨年12月のクラブ総会にて承認され改正が完了しました。

また、会員満足度アンケート、クラブ活力テストの2つのアンケートを実施しました。

今年度は、これらのアンケート結果等をもとに、CLP の実践の始めとして、長期計画を検討・立案したいと考えています。（クラブの現状の把握、なりたいクラブのビジョン作成、ビジョン達成のための戦略的優先事項の検討）

また、長期計画委員会の会議には、委員以外の会員参加もオブザーバーとして歓迎いたします。

##### ②WEB 方式でのクラブ例会の開催検討

ズーム等のソフトツールを活用した会合の開催について広報・公共イメージ委員会で必要性や課題、適応する範囲等の検討を行って頂きます。（できるだけ早く結論を出したい）

##### ③当クラブ奉仕プロジェクト

以下の内容で、ロータリー財団地区補助金申請済み。（申請額 599,500 円、内容は市川年度での計画を流用）

- ・プロジェクト名「ゴールドリボンチャリティーハーフマラソン&ウォーク」（於 県営春日公園）
- ・協力団体；ゴールドリボンチャリティーハーフマラソン&ウォーク実行委員会
- ・小児がんと闘っている子供達やその家族そしてそれらをサポートする方々への支援を目的にイベントを開催し小児がんへの理解と支援の広がりを目指す。（例会時の外部卓話も計画）

##### ④地区ロータリー奉仕デープロジェクト

本奉仕活動は、参加者の25%以上は、ロータリアン以外の方の参加が条件となっていますので各会員企業の皆様のご協力をお願いします。別途、奉仕プロジェクト委員会より具体的な内容をお知らせいたします。

##### ⑤会員増強

転勤移動等に伴う退会者の補充は勿論のこと、若い会員の勧誘を目指したい。市川年度で会員基盤向上委員会の提案により導入された「新会員勧誘システム」の積極的な活用をお願いします。

##### ⑥台湾・高雄中興ロータリー表敬訪問

2022年3月の高雄中興ロータリー30周年式典招待を受けて、これに参加し永年にわたるクラブ間の友好親善をさらに深めていくことに努めます。（国際親善委員会）

##### ⑦40周年記念事業対応

事業内容、実行体制、予算等について、40周年記念事業委員会（川久保会長、鐘川実行委員長）で今後検討して頂く。今年度に対応が必要な項目の洗い出しと準備を行う。

##### ⑧財団寄付の充実

財団寄付の目的、用途等の周知を改めて行うとともに、（ニコニコ箱を使い）分かり易く、気軽に実行できるロータリー財団、米山奨学への寄付の機会を作り、会員の善意をより拡げていく。

#### (5)今後1年のこと

ワクチン接種が始まっていますが、コロナ禍の状況はまだまだ予断を許さない状況と思われます。そのような中でも、さらに明るく楽しいロータリークラブとなるよう、皆様のご意見やご協力をいただき努力していきたいと思っております。

最後にアンケート結果によれば、多くの会員の皆様が、「当クラブを誇りに思う」と回答されており大変感銘を受けました。

以 上

## (1) 2021～22年度RI会長テーマ

2021年2月1日から2月11日まで、ロータリー歴史上初めてのWEBで開催された「国際協議会」において、シェカール・メータRI会長エレクトから、2021～22年度RI会長テーマと活動目標が以下のとおり発表されました。



**奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために**

(Serve to Change Lives)

## (2) 次年度RI会長の活動目標

### ①会員を増加してロータリーの参加者基盤を広げる

- ・過去17年間120万人と横ばいであった会員を、2022年7月1日までに130万人に増やす。
- ・そのために今後17か月間にガバナー自身と各クラブ会長が全てのロータリアンに対し新会員1人を入会させるようお願いする。(each one, bring one)

### ②世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす

- ・2021～22年度に少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画開催するよう、全てのクラブにお願いする。
- ・そしてこのイベントは、他団体・企業と手を取り合い、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人々の人生を豊かにするプロジェクトにして下さい。ロータリー奉仕デーは、職業やロータリーとの関係に関わりなく、地域の家族や協力団体とともに有意義な奉仕に取り組む機会となり、皆さんの意義ある活動を、地域社会の人々に広く知ってもらうことにもなります。
- ・奉仕活動にあたり、次年度の焦点は中核的価値観の1つである多様性、なかでも女子(girl)のエンパワメントとします。
- ・もっと行動し、もっと成長するためのRI会長主催の取り組みとして、世界各地※1で7つの重点分野※2に焦点を当てた7回の会長主催会議を開催します。

自国に最も近い国で開催される会長主催会議に参加するよう全クラブに呼びかけて下さい。

※1 会議は、韓国（慶州）：2021年10月3日（日）～4日（月）

イタリア（ベニス）、フィリピン（マニラ）、ブラジル（フォス・ド・イグアス）  
インド（ハイデラバード）、モザンビーク（マプ）

アメリカ（来年6月ヒューストンでの国際大会の直前に実施）

※2 7つの重点分野（ ）内は国連のSDGs関連項目

- ・平和の促進（16）
- ・疾病との戦い（3）
- ・きれいな水の提供（6）
- ・母子の健康（3）
- ・教育支援（4）
- ・地域経済の発展（8）
- ・環境の保全（13、14、15）



### （3）次年度RI会長からの「ロータリー奉仕デー」についてのお願ひ事項

「2021～22年度ロータリー奉仕デー」のイベントとして認められるには、以下の4項目を満たす必要があります。

- ① 二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画されたものである
- ② ロータリー重点分野に一致している（一つまたは複数）
- ③ 少なくとも一つのメディア（フェイスブック、ツイッター、地元紙）で周知を行う
- ④ 参加者の少なくとも25%は、現ロータリー会員ではない

また、イベントは、以下の追加のガイドラインのうち、少なくとも3つを満たす必要があります。

- ① 国連が定める国際デー、またはロータリーの特別月間に合わせて行う
- ② 女子のエンパワメントに優先的に取り組む
- ③ ロータリー地域社会共同隊と協力する
- ④ 少なくとも一つの地元企業、地域団体、政府または自治体と協力する
- ⑤ イベントの主催クラブが地域社会のエンパワメントをどのように継続していけるかについて、地域社会でのディスカッションを行う
- ⑥ 家族やあらゆる年齢・能力の参加者が参加できる奉仕の機会を提供する
- ⑦ イベントの写真と成果をソーシャルメディアで紹介する
- ⑧ イベント後、クラブ会員ではない参加者をクラブ例会に招く等、地域社会でのクラブの活動を知ってもらう

## 2021～22年度の2700地区の活動について

### (1) 2021～22年度2700地区のテーマ

以上のR I 会長エレクトのテーマと活動目標を受けて、2021～22年度2700地区のテーマ及び重点目標を以下のとおりとします。

### 『取り組もう 基盤強化と超我の奉仕』



シェカール・メータご夫妻と貴ガバナーエレクトご夫妻

### (2) 2700地区の重点目標

#### ① 2700地区の会員増強

- ・地区目標値 2022年7月1日時点会員数 3,400人  
※2021年2月1日会員数(3,152人)×1.08 (130万人/120万人)

- ・新入会員入会声かけ運動の展開  
ガバナーとクラブ会長から全会員への声かけ運動
- ・会員維持、新入会員育成の方策の検討実施
- ・新クラブの結成促進

#### ② 地区が一体となったインパクトのある奉仕活動の計画・実施

- ・次年度R I 会長からのロータリー奉仕デーについてのご願いに沿って実施

#### ③ クラブ戦略 (CLP) の策定実施

- ・各クラブ毎に2022年7月1日時点における会員数の目標設定と目標達成に向けての取組
- ・クラブ会員維持方策と新会員育成方策の策定実施
- ・インパクトある奉仕活動計画の策定実施

#### ④ 2700地区の5カ年計画の着実な実施

- ・地区およびクラブ委員会委員等へのローターアクトの積極的起用
- ・RLIの計画的実施及びロータリー財団と米山奨学会に対する寄付目標達成

#### ⑤ R I 事業への積極的参加

- ・国際大会への出席促進 (ヒューストン)
- ・7か国でのR I 会長主催会議への出席促進

## 未来形成委員会についての報告

未来形成委員会におけるロータリーの組織変更の検討状況につきましては、2018年7月に発足したロータリー未来形成委員会（SRF）の検討結果が昨年11月19日のRI理事会で報告されました。

### ① 変更概要

現在世界の540地区→28の地域（日本は34地区から1地域に）

540人のガバナー→28人のカウンシル

- ・カウンシルは選挙で選ばれ任期3年。ローターアクトにも選挙権、立候補権あり
- ・地域の中で25～30クラブを束ねるセクションを置き、選挙でリーダーを選ぶ（任期2年）。ローターアクトにも選挙権、立候補権あり
- ・賦課金を集める権限はカウンシルのみにあり、セクションリーダーにはない

以上についてSRF委員会で協議した結果、以下の見直しがあっている。

- ・ガバナーという名称は残す
- ・カウンシルの権限を明確にする
- ・ローターアクターとロータリアンは同じ立場にしない

スケジュール

- ・今後一年かけて再検討する
- ・2022年4月規定審議会で決定
- ・2024年7月からパイロットで運用開始
- ・問題がなければ2030年7月1日から全地域で運用開始

### ② 変更する理由

a. 4つの行動計画達成のために必要な機敏なガバナンス構造確立のため、現状システムでは、

- ・地区ガバナーが忙しすぎて十分機能できていない
- ・指名によりガバナーを決めると能力意欲がある人が上に立つのが難しい
- ・ローターアクトもガバナンスに加わるべき

b. クラブへの要請が変化してくる中で、国際組織として全クラブ一律では変化に対応できていない

以上の組織変更について、今後一年かけての再検討が行われます。その動向に注目していただきたいと思います。

RIの組織がどう変わっても対応できるように、我々日本のロータリアンとして出来ることは、個々のロータリークラブの基盤強化と自律性を高めていくことが重要であると考えます。

その意味で次年度の重点目標である会員増強とインパクトある奉仕デーの成功は、今後の2700地区各クラブ発展のためには大変重要なポイントになると考えます。皆様には、これまでもましたロータリー活動をお願い致します。